

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
自然を愛し、自ら考え行動する心あたたかい成名っ子の育成 自分で考えねばり強くがんばる子 素直で思いやりのある子 体をきたえる元気な子	1 基礎学力の充実を図り、主体的に取り組む学習態度を育てる。 2 一人一人のよさを生かしながら、自主的・創造的な活動の推進を図る。 3 人権尊重の精神を養い、互いに励まし合って向上しようとする態度を育てる。 4 自然体験を重視し、たくましい心身の育成と体力の向上に努める。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
【学力状況調査の結果】 全国 基本的な漢字は、読み書きできる。ことわざの意味を正しく選ぶことができる。接続語を正しく選ぶことができる。測定に使う用具を正しく選ぶことができる。基本的な四則計算はできる。割合が100%をこえるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している。 難解な漢字は、あまり読み書きできない。文のきまりが理解できていない。文章の読み取りが苦手に関係付けをしただり 自分の意見を書くことができない。広さや面積の単位把握ができていない。概数の仕方やグラフの読み取りが不十分である。文章からいくつかの情報を読みとり、筋道立てて考えることが苦手である。 県 漢字の読み書きはよくできている。読む力、言語についての知識・理解は、高い。社会事象についての知識・理解が高い。電気、水溶液の性質、顕微鏡の使い方が理解できている。思考・表現・観察の技能が優れている。我が国の政治の働きが理解できている。書くことの力が弱い。パンフレットの作成の問題が弱い。日本周辺の海流名、地名を覚えていない。貴族～武士による政治の内容がわかっていない。思考・判断を問う問題は、正答率が低い。数量関係、図形についての正答率が低い。文意を読み取れていない。応用力が足りない。記述の問題が弱い。説明ができない。 太陽の位置とかげの動きが把握できていない。理由の記述は、県平均を下回っている。	【学習状況調査の結果】 全国 家で学校の宿題をしている。いじめは、どんな理由があっても悪いことだと思っている。人の役に立つ人間になりたいと思っている。難しいことは、失敗を恐れて挑戦しない。土曜日や日曜日などは、あまり勉強しない。学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書くことは難しいと思っている。 県 将来の夢や希望を持っている。地域の行事に参加している。あいさつをよくしている。人の役に立ちたい。1日あたりの家庭学習の時間が昨年度より増えている。宿題をする習慣はついている。自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと感じている。家庭学習の内容や方法について自分なりに考えてやっている子が半数近い。学校の先生からアドバイスを受けた子は少ない。国語の勉強が好きと答えた子が他の教科より少ない。テレビの視聴時間は減っているが、1日にゲームをする時間が長い。

成果と課題	課題に対応した改善方法
「ねらい」「まとめ」「話型」を意識した授業を全学年で取り組んだ。 ペア学習やグループ学習を取り入れて児童の相互理解や学習意欲を高める工夫を行った。 自分の考えや意見を発表できるようにまとめやノートの記述の仕方を全校で工夫した。 「にこにこ成名っ子カード」を利用して、基本的な生活習慣の確立と家庭学習の時間を充実させるための取組を全校で行った。 書くことの力が弱い。 思考・判断を問う問題は、正答率が低い。 文意を読み取れていない。応用力が足りない。 記述の問題が弱い。説明ができない。 自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと感じている。 国語の勉強が好きと答えた子が他の教科より少ない。 テレビの視聴時間は減っているが、1日にゲームをする時間が長い。	各教科の授業の中で、図や絵で表現する取組を行う。 基礎・基本の知識や技能を定着させる取組をしていく。 読書後に図書カードやリーフレットの作成を行っていく。 日記や作文を適時書かせる。 「天声人語」や「一滴一滴」を使って練習をする。 活用型の問題を解いていく。 図書室の本や資料、パソコンを使って調べる。 調べたことをサンプルをもとにまとめる。 授業の単元や出前授業などを捉えて、個人や小グループで様々な形式で調べたりまとめたりする。 「にこにこ成名っ子カード」を活用していく。 学級懇談や教育相談を利用して保護者に協力を呼びかける。 「にこにこ成名っ子カード」を記録として毎回残して比較していく。

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
ノート点検やアンケート実施を行う。(各学期) 読書カード、リーフレットなどの掲示や展示を行う。(読書週間や学習発表会、参観日) 記述問題を解いたり、授業のまとめなどを自分で記述する時間を取り入れる。(授業時間、朝学習の時間) 作文の発表会や日記を学級通信などで紹介する。(参観日、学級通信の発行時) 各単元テストや学習到達度確認テストなどの活用と振り返りテストの実施(単元末、学期末、学年末) 「にこにこ成名っ子カード」(6月、11月、2月)や「親子チャレンジ1週間」(11月、2月)を実施する。 学級懇談や教育相談で情報交換する。(各月)	来年度は、今年度よりも平均値を向上させる。(70%) 現在よりもテレビやゲームの時間を減らし、家庭学習の時間が増やす。(80%) 自分の意見や感想がしっかりと書いたり言えたりできる。(80%) 自分流のノート(図や絵を入れた)が書けるようになる。(75%) 学習した内容が、概ね定着している。(70%)